

## 「革新的なインプラント治療の予後と臨床的検証 The prognosis and clinical

### evaluation of innovative implant treatment」

インプラント治療終了後に様々な合併症やトラブルが報告されるようになった。それらの原因として、インプラント治療が行われるようになって半世紀、様々な治療方法や材料が用いられて現在のインプラント治療がなされているが、それら治療方法や材料の十分な検証がなされていないことが懸念される。そのことから、インプラント治療を行うにあたり厳密なプロトコールを守り、より慎重なアプローチを行うことによってインプラント治療が行われることは喜ばしいことである。しかしながら、インプラント治療における革新的な治療方法や新材料の臨床応用が行われにくくなることは、インプラント治療の発展や進歩に影響を与えられる。

近年、歯科界で注目されているデジタルデンティストリーにおけるインプラント治療は、診査・診断からインプラント体埋入手術、CAD/CAMを用いた上部構造製作に至るまで、その広がりや革新的な進歩を見せている。そのような夢のあるデジタルインプラント治療だが、その進歩と変革によって術後に起こる合併症やトラブルを軽視するようなことになってはいけない。

そこで今回のテーマでもある「最新の治療方法と従来の治療方法の選択」ということで、これまで行ってきた診査・診断法から即時埋入・即時負荷の検証からデジタルインプラント治療の考察を行いたいと思います。さらに上部構造作製におけるインプラント周囲骨の吸収に対する取り組みについてお話ししたいと思います。